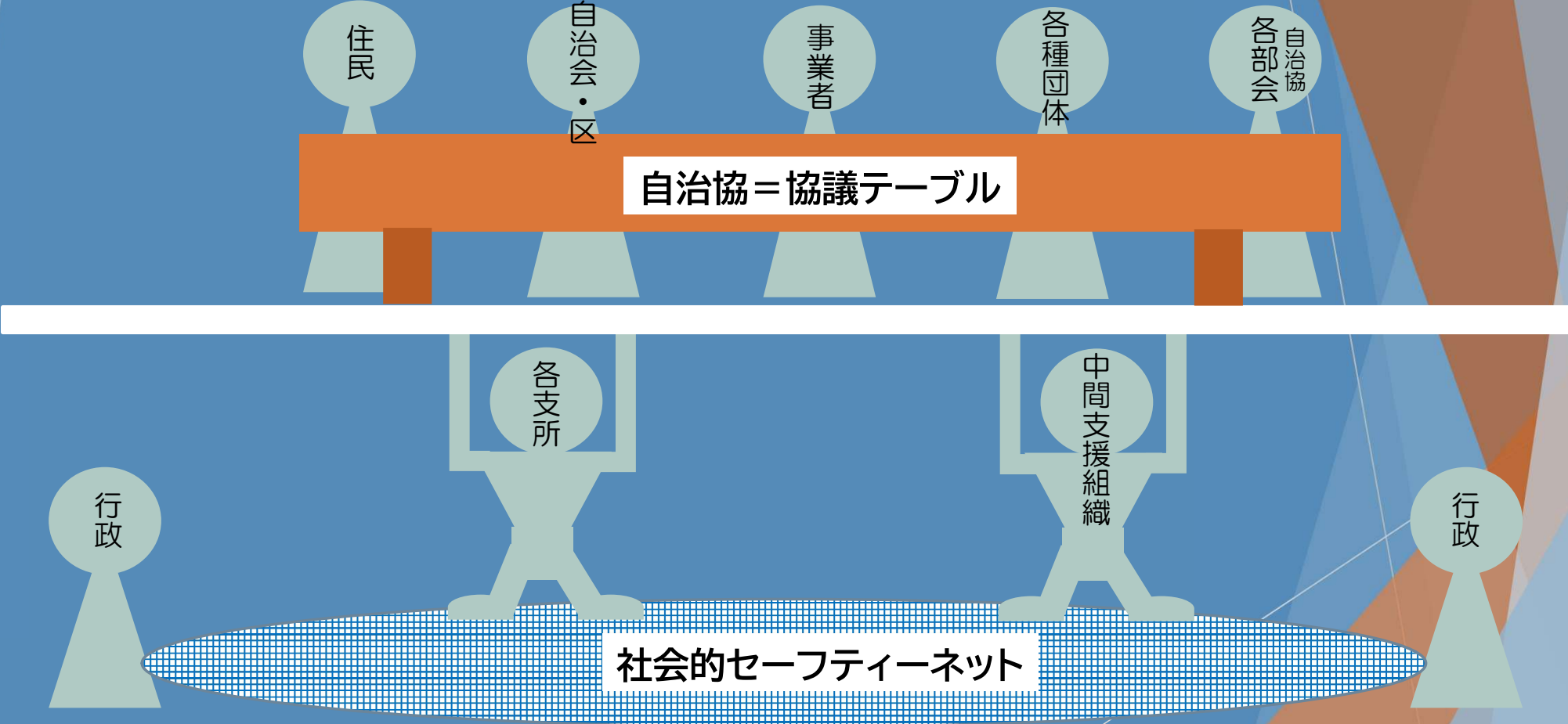


# 住民自治協議会のイメージ

【資料4】



めざすもの：持続可能な地域運営と住民の幸福度・満足度の維持（できれば向上）

## START

### (0)-1 地域課題の洗い出し

- ・困りごとは何か？ ⇒ なくてはならないものが無いのか？  
あつたらいいな、が足りないのか？  
あつて困るものが無くならないのか？

### (0)-2 既存事業の棚卸し

- ・そもそもの事業目的は？ ⇒ 「なぜ？」を突き詰める

## 取組目標

### (1)協議の場

- ・協議の場としての自治協  
⇒ 多様な主体の協議テーブルを提供
- ・地域まちづくり計画の見直し  
⇒ 地域課題に対応した解決に向けた取組を設定  
⇒ 要素の積み上げに偏った関係性の薄い計画から、  
多様な視点をつなげて全体として機能させる取組へ

### (2)組織運営

- ・自治協の役割を協議テーブル提供者＝コーディネーターと整理 ⇒ 役割の再定義 疑似行政的ではないとの認識共有
- ・指定管理料による事務局人件費の確保 ⇒ 役割を明確化した上での人材育成
- ・中間支援組織の関与 ⇒ 地域課題の洗い出しや既存事業の棚卸しの協議、取組の推進支援及び新たな取組立案への助言等を含む伴走支援
- ・地域人材の活用

## GOAL

### (00) 事業の実施～終結

- ・実施事業は単発か継続するのか？  
⇒ 継続事業の出口の明確化（誰が、どうやるのか？）

### (5)企業、その他団体(NPO等)、他地域との協働・連携

- ・多様な主体の多様な関わり方の許容  
⇒それぞれの役割、メリット・デメリットを踏まえた  
win-winの関係性構築
- ・地域課題の解決という軸がぶれないよう共有

### (3)住民参加・参画

- ・楽しさ、やりがいの保障
- ・必要性の検証
- ・意見反映の保障
- ・特定個人への過剰負担の回避

### (4)活動資金

- ・採算性確保の必要性
- ・負担共有の理解促進
- ・補助金の効果・課題の認識
- ・新しい手法の検討

# 住民自治協議会の概要

【資料4】

めざすもの：持続可能な地域運営と住民の幸福度・満足度の維持（できれば向上）

変化の  
ポイント

## (0)-1 地域課題の洗い出し

- ・困りごとは何か？ ⇒ なくてはならないものが無いのか？  
あったらいいな、が足りないのか？  
あって困るものが無くならないのか？

## (0)-2 既存事業の棚卸し

- ・そもそも

### 動機付け

○自治協の役割  
(協議体機能)  
の再確認

○問題解決策の検討

○取組目的の再検証

### 取組目標

○新たな参画機会・動機付けの  
創出 (住民と自治協との接点)

## GOAL

### (00) 事業の実施～終結

- ・実施事業は単発か継続するのか？  
⇒ 継続事業の出口の明確化（誰が、どうやるのか？）

評価

## (5) 企業、その他団体（NPO等）、他地域との協働・連携

- ・多

### 取組の目的

○地域の様々な活動主体  
(企業、他団体)との協働

○事業目的の明確化  
(企業等との協働)

○新たな参画機会・動機  
付けの創出  
(スキルに着目した参画)

○事業目的の明確化  
(資金調達)

## (1) 協議の場

- ・協議の場 ⇒ 多様な
- ・地域まな ⇒ 地域
- ⇒ 要素
- 多様な視

## (2) 組織運営

- ・自治協の役割を協議テーブルの提供者＝コーディネーターと整理 ⇒ 役割の再定義 疑似行政的役割との認識共有
- ・指定管理料による事務局人件費の確保 ⇒ 役割を明確化した上での人材育成
- ・中間支援組織の関与 ⇒ 地域課題の洗い出しや既存事業の棚卸しの協議、取組の推進支援及び新たな取組立案への助言等を含む伴走支援
- ・地域人材の活用

○参加・参画への道  
筋を計画的に整える

○適切な住民自治  
組織体制

○自治協の人的・物的・知的資源を活用した収益事業